

...刺しゅうのある暮らしをもっと楽しくもっと豊かに...

ひとはり Street



やさしい刺しゅうの小物づくりをナビゲートする「ひとはりcafe」や刺しゅうがますます楽しくなる、刺しゅうグッズの専門店もある「ひとはりストリート」、どうぞごゆっくり楽しんでみてください♡

このコーナーでは刺しゅうビギナーの方も楽しめるやさしい手作りを紹介します。お茶でも飲みながら、気軽に手作りしてみませんか！

お気に入りのはさみを入れたい 花の地刺しのシザーケース



Scissor case

今回は地刺しのシザーケースをご紹介します。「はさみ」は刺しゅうにはなくてはならない大切な道具。高価なはさみなら尚更大切にしたいもの。そこでこんなケースはいかが？ 布はドイツ・ツバイガルト社製「ルガナ」を使用。混ざり糸のマーブルスレッドと25番糸2色で小さなお花の地刺し模様をステッチ。モアレ地を裏布に使って仕立て、仕上げにビーズをあしらいます。おけいこに持っているのも楽しくなりそうなのはさみケースが得意！ ビギナーさんには少々根気が必要ですが、ステッチする時間を楽しむ気持ちで、ぜひチャレンジしてみてください。(キット販売もごさい)



写真右のはさみはイタリア製。全長は約9.5cm、切れ味はもちろん良いのですが、刃先が細くとがっていますので、細かい部分のカットもしやすいはさみです。ハンドル部分はやわらかい曲線のフォルムが美しく、手になじみます。また、繊細な彫り模様もほどこされています。(今回はこちらのはさみも販売しています) また、はさみに付けているのは刺しゅう糸でつくったタッセル。ケースとお揃いの糸で作ると、グッとおしゃれ感が増します。(次のページで作り方もご紹介しています)



大切なはさみには自分の物々となるように目印を付けておきたいもの。この目印、「シザーフォブ」(シザーキー) (一) などとも呼ばれますが、写真は地刺しと同じ刺しゅう糸でタッセルを作り、取り付けたもの。この他、小さなビーズやシボのような中に飾りを入れたものにロープを付けて取り付けてもかわいいです。

↑同じ刺し方で作った応用例。中に飾りを入れたブティック・シボですが、ロープを付けて、はさみに取り付けるシザーフォブにしてもよさそうです。
●布・モアレ地・接着芯・針・糸・ビーズ・解説書がセットされたキットも販売いたします。詳しくは6ページをご覧ください。
♥写真のシルバーのはさみも販売いたします。詳しくは7ページをご覧ください。

花の地刺しのシザーケースをつくる

キットと材料は通信販売もいたします

材料

- 刺しゅう布=ルガナ 白 18×18cm
- 裏布=モアレ地 ブルー 18×18cm
- 接着芯(薄手)=15×15cm
- コスモマーブルスレッド1色 25番刺しゅう糸2色
- 白ビーズ大2号(約10mm)・3mmパールビーズ20個

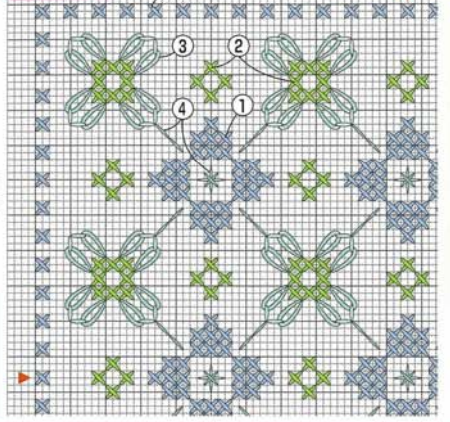
作り方

- 1 ●ルガナはほつれやすいので、布の周囲をロックミシンまたはジグザグミシンをかけるか、手縫いの場合はあらかじめ巻きかがりしておく。
- 2 ●布を折って中心を決め、ステッチ図の中心に合わせて、図の通りにステッチを刺す。

ステッチの刺し方は...

- ★各ステッチの刺し方は啓佑社発行「ステッチ BOOK1 基礎編」(A5 判本文 1色刷 60頁 定価 580円+税)にプロセス入りで解説しています。こちらの本は通信販売でお求めいただけます。また、戸塚刺しゅう研究所、ホームページの「刺しゅうの手引き」(以下のアドレス)でもご覧いただけます。
- URL=<http://www.totsuka-shisyu.com/contents/manual/stitch/index.htm>

ステッチ図



シザーケースの作り方

★長さ9.5cmまではさみが入るケースになります★

- 1 刺しゅう布をアイロンをかけて形を整えます。裏布のモアレ地も用います。
- 2 4目あける。返し口5cm。ガイド線。
- 3 ミシンで縫う。刺しゅう布(裏)。

- 4 モアレ地(表)を1.5cm上に折る。返し口。
- 5 返し口をアイロンで貼る。外側のステッチから4目の位置にチャコペンなどでミシンで縫うためのガイド線を引きます。この時5cmの返し口にも印を付けておきます。
- 6 モアレ地と刺しゅう布を中央に合わせて、返し口を預けてミシンで周囲を縫います。(ミシンがない場合は手縫いで縫いましょう)周囲を縫ったら、縫い代を6~7mm巾にカットし、角は斜めにカットします。

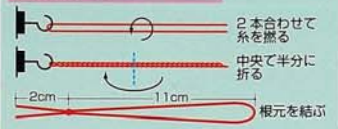
- 7 返し口から布を表に戻しますが、縫い代をアイロンで倒しておくと形が整えやすくなります。角を目打ちなどできれいにし出し、アイロンで形を整え、返し口は白の手縫い糸でコの字とします。
- 8 さらに再倒の布を中央に合わせて合わせるように折ります。この時、布がずれないように下部につけ糸などで仮り止めしておくといでしょう。
- 9 両側の布を合わせた中央の部分を写真(AからEまで)を白の手縫い糸を使い、コの字とじて縫い合わせます。裏布が見えないように刺しゅう布の方をすくいます。



タッセルの作り方

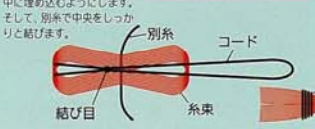
コードを作る

- 1 マーブルスレッドを1.8mにカット、半分折って「わ」の部分をつックなど固定できるものに掛け、糸を2本同時に両方向に巻いて型を付けていきます。これ以上巻かないぎりぎりまで巻いたら、糸の中央を持って半分折りますが、このとき両方の糸同士が自然に巻き付いて縀りのかかったコード状になります。
- 2 下図のように「わ」の位置から11cmの所で結び、糸端は2cmでカットしておきます。



房を作る

- 1 マーブルスレッドの糸7mを、厚紙に巻いていきます。次に厚紙から糸束をはずし、その糸束にコードの結び目を中央から少し左側にして置きますが、コードを糸束の中心に埋め込むようにします。そして、別糸で中央をしっかり結びます。
- 2 2本合わせて糸を擦る。中央で半分に折る。
- 3 別糸で数周糸を巻く。



- 4 糸束の両側の輪の部分をはさみでカットします。次に右側の糸束を写真のように左側に倒します。これで結び目が糸束の中心に隠れます。後は別糸で根元部分に数周糸をしっかりと巻き付けて、目立たないように糸の端を揃えます。
- 5 糸束には折り目が付いているので、一度米に軽くたたいてアイロンを糸を伸ばしながら乾かし、好みの長さで縫ってカットして、くしなどで整えます。これをはさみに取り付けて完成です。糸束を厚紙に巻く分量や長さはお好みで調節してみてください。

